

令和4年度業績集

発表

1. Masanori Munakata, Tomomi Hattori, Satoshi Konno, Fumie Kubota-Nakayama,
Nobutaka Inoue, Tomohiro Nakamura, Atsushi Hozawa
Influence of Menstrual Situation on the Risk of Incident Microalbuminuria in
School Workers: Miyagi Karoshi Prevention Study
58th European Renal Association, May19-22.2022, Paris (Virtual)

2. 根本 友紀

多職種連携による生活指導と臨床研究

多職種連携による高血圧、循環器疾患の予防を考える研究会

2022年5月31日、仙台

3. 宗像 正徳

職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～

東京産業保健総合支援センター・産業医研修 2022年6月1日 東京

4. 宗像 正徳、佐藤 友則、根本 友紀、高橋 貴子、金野 敏

心保護を考慮した高血圧患者における運動指導の実際と将来展望

第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会 2022年6月11日 沖縄

5. 宗像 正徳、服部 朝美、中山 文恵、金野 敏、井上 信孝、中村 智洋、寶澤 篤

生理の尿中アルブミン排泄量、微量アルブミン尿判定に及ぼす影響—勤労教職員を対象
とした検討 第10回臨床高血圧フォーラム 2022年6月18日 札幌

6. 宗像 正徳

職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～

北海道産業保健総合支援センター・産業医研修 2022年6月20日 札幌

7. 宗像 正徳

過重労働と健康障害 ―研究成果から考える健康課題―

宮城県教育庁 新任校長・新任事務室長研修会

令和4年度過重労働対策セミナー 2022年7月6日 美田園

8. 宗像 正徳、服部 朝美、金野 敏、井上 信孝、中村 智洋、竇澤 篤
新型コロナウイルスパンデミック下における学校教職員の時間外労働と抑うつ指標の縦断的関係性―宮城過労死予防研究
第19回日本うつ病学会総会 2022年7月14日 大分
9. 宗像 正徳
職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～
宮城産業保健総合支援センター・産業医研修 2022年8月3日 仙台
10. 宗像 正徳
過労死を予防するための生活習慣病管理について
北海道産業保健総合支援センター・事業主研修会オンラインセミナー 2022年9月7日
11. 宗像 正徳
職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～
愛知産業保健総合支援センター・産業医研修 2022年9月15日 名古屋
12. 宗像 正徳
職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～
広島産業保健総合支援センター・産業医研修 2022年9月29日 広島
13. 宗像 正徳
過重労働と健康障害 ―研究成果から考える健康課題―
宮城県教育庁 管理職等希望者 衛生管理者及び衛生担当者希望者
令和4年度過重労働対策セミナー 2022年10月5日 仙台
14. Masanori Munakata, Tomomi Hattori, Fumie Nakayama, Satoshi Konno,
Nobutaka Inoue, Tomohiro Nakamura, Atsushi Hozawa
Risk of pseudo-microalbuminuria during menstrual situation in apparently healthy workers

The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension,
October14.2022, Kyoto

15. Masanori Munakata

Clinical significance of work stress induced increase in blood pressure in
hypertension management

The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension,
October14.2022, Kyoto

16. Satoshi Konno, Masanori Munakata

Depression is associated with new-onset diabetes mellitus but not hypertension, in
the general population

The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension,
October14.2022, Kyoto

17. 根本 友紀

等尺性握力トレーニングの安全な実施とその効果

シンポジウム3 運動療法による降圧のエビデンスや機序と実践法

第44回日本高血圧学会総会 2022年10月15日 京都

18. 宗像 正徳

職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～

京都産業保健総合支援センター・産業医研修 2022年10月17日 京都

19. 佐藤 友則

高齢労働者の安全衛生対策と就労支援－産業理学療法士の活用－

福岡県理学療法士会主催 令和4年度産業理学療法研修会 2022年10月23日

(リモート発表)

20. 宗像 正徳、服部 朝美、金野 敏、井上 信孝、中村 智洋、寶澤 篤

学校教職員の時間外労働と抑うつ指標の縦断的關係性－新型コロナウイルスパンデミック下における検討

第70回日本職業・災害医学会学術大会 2022年11月5日 (リモート発表)

21. 金野 敏、宗像 正徳、井上 信孝

抑うつ傾向と微量アルブミン尿ならびに心血管リスクとの関係：亘理町研究

第 70 回日本職業・災害医学会学術大会 2022 年 11 月 5 日 (リモート発表)

22. 佐藤 友則、八巻 裕子、高橋 貴子、根本 友紀、金野 敏、宗像 正徳
中年期以降の高血圧患者における運動様式の違いが血圧、動脈壁硬化度、転倒リスクに
及ぼす効果—中間報告—
第 70 回日本職業・災害医学会学術大会 2022 年 11 月 5 日 (リモート発表)

23. 宗像 正徳
職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～
石川産業保健総合支援センター・産業医研修 2022 年 11 月 7 日 金沢

24. 宗像 正徳
職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～
大阪産業保健総合支援センター・産業医研修 2022 年 11 月 17 日 大阪

25. 宗像 正徳
高齢者高血圧治療の質を上げるために—チーム医療のノウハウ—
人生 100 年時代を支える医療を考える研究会 2022 年 11 月 22 日 仙台

26. 宗像 正徳
職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～
熊本産業保健総合支援センター・産業医研修 2022 年 12 月 14 日 熊本

27. 金野 敏
腎機能障害を伴う血圧コントロール不良高血圧患者の診療
第 3 回 台原医療連携を考える会 2023 年 1 月 25 日 仙台

28. 佐藤 友則
労働者を支える産業理学療法
第 30 回全道理学療法士学術研修大会・第 4 回道南理学療法士学術研修大会
2023 年 2 月 18 日 (リモート発表)

29. 宗像 正徳
職域健診におけるアルブミン尿測定の意義～宮城過労死予防研究の成果～
高知産業保健総合支援センター・産業医研修 2023 年 3 月 1 日 高知

新聞、邦文著書

1. 宗像 正徳

海外赴任中の過労死表面化

神戸新聞 2022年4月28日掲載

2. 根本 友紀、宗像 正徳

機構で取り組む研究紹介 23

いつでも・どこでも・簡単に！ハンドグリップを使って血圧を下げる方法とは？

－高血圧患者における握力トレーニングの降圧効果の検討－

産業保健 21 2022.10 第 110 号

論文

1. Masanori Munakata, Tomomi Hattori, Fumie Kubota-Nakayama, Satoshi Konno,
Nobutaka Inoue, Tomohiro Nakamura and Atsushi Hozawa

Home Blood Pressure-based Guidance Did not Increase Anti-albuminuric Effects on
Diagnostic Provision of Microalbuminuria in School Workers :A Miyagi[Karoshi
Prevention Study Intern Med. 2022 Sep 13. doi: 10.2169/internalmedicine.0107-22.

2. Masanori Munakata

Practical Cutoff Values of Brachial–Ankle Pulse Wave Velocity to Predict 10-Year
CHD Risk in the Japanese General Population

J Atheroscler Thromb. 2022 Oct 1. doi: 10.5551/jat. ED215.

3. Jeong Bae Park, James E. Sharman, Yan Li, Masanori Munakata, Kohji Shirai,
Chen-Huan Chen, Sae Young Jae, Hirofumi Tomiyama, Hisanori Kosuge, Rosa Maria
Bruno, Bart Spronck, Kazuomi Kario, Hae Young Lee, Hao-Min Cheng, Jiguang
Wang, Matthew Budoff, Raymond Townsend, Alberto P. Avolio

Expert Consensus on the Clinical Use of Pulse Wave Velocity in Asia
Pulse (Basel). 2022 Nov 22;10 (1-4):1-18.

